

令和5年度 文部科学省幼稚園免許法認定講習等推進事業 「幼稚園教諭免許法認定講習」

趣旨 文部科学省
「二種免許状から一種免許状へ」

文部科学省は質の高い幼児教育・保育の実践の根幹となる幼稚園教諭について、次のように述べています。

「幼稚園教諭の専門性向上に関して幼稚園教諭二種免許状を有する教員は、教育職員免許法に基づき、教員としての在職年数と所定の単位の修得によって一種免許状を取得することが可能であるとともに、同法により一種免許状への上進の努力義務が課されている。しかし、現状では、そうした単位の修得に資する免許法認定講習等は多くの都道府県で実施されておらず、十分な受講機会が確保されているとはいえない状況にあり、二種免許状を有する教職員の専門性向上に関して課題がある。

この度、京都光華女子大学では、文部科学省の委託を受け、「中堅幼稚園教員のキャリアアップおよび幼稚園教員の専門性の向上を図る」ことを目的に幼稚園教諭免許法認定講習を実施いたします。

【事業概要】

本事業は、12年以上勤務した幼稚園教員が、二種免許状から一種免許状への上進が可能となるよう、令和5及び6年度の2年にわたり、全9講座（10単位）の認定講習を開設するものです。

幼稚園教員二種免許状を有する教員が一種免許状への上進が可能となるよう、希望者を対象に免許法認定講習を開設・実施するとともに、二種免許状を有する教育職員の専門性の向上を図ることを目的としています。

本学キャンパスに隣接する併設幼稚園である光華幼稚園との連携により理論と実践を往還しながら専門性を向上させる特色ある講習等を実施いたします。

右のQRコードから簡単に予約することができます。



実施要項 専門性の向上とキャリアアップ

【対象者】

幼稚園教諭二種免許状保有者で、12年以上の在職年数（幼稚園・幼保連携型認定こども園）を有する方

- 単位取得後の取得免許状
幼稚園教諭一種免許状
- 講習期間
令和5年7月12日（水）～令和5年12月16日（土）
- 講習場所
京都光華女子大学および光華幼稚園
（京都市右京区西京極葛野町 38）
- 実施方法
対面講習及びオンデマンド講習。「保育実践研究」については幼稚園の保育参観を含む。
- 受講定員
各科目 30名（定員を超えた場合は先着順といたします）
- 受講申込期間
令和5年6月13日（火）0:00 ～ 令和5年6月30日（金）23:59
*11月、12月に開講される科目については、定員に達していない場合のみ第2期募集を実施します。
申込期間：9月4日（月）～9月29日（金）（空きがあるかどうかは下記連絡先にお問い合わせ下さい）
- 受講料
科目受講料：1単位 6,000円 × 受講単位数



講習内容 理論と実践の往還による特色ある講習

講習科目	単位数	講習日程	講習時間	レポート提出日	講習形態
保育内容研究	1	7月12日（水） 7月19日（水） 7月26日（水） 8月2日（水）	各日とも 14:30～17:40	8月9日（水）	対面での講義・演習
保育実践研究	1	7月15日（土） 7月29日（土） 8月18日（金）	各日とも 8:50～16:00 8:50～17:40	8月5日（土）	対面での講義・演習
保育実践研究	2	8月24日（木）	8:50～12:00 12:50～16:00	9月2日（土）	幼稚園での保育参観 対面での講義・演習
		8月25日（金）	8:50～12:00 12:50～16:00		幼稚園での保育参観 対面での講義・演習
		8月26日（土）	8:50～12:00		オンデマンド講義
		11月18日（土） 11月25日（土）	各日とも 8:50～16:00		12月2日（土）
子ども家庭支援の心理学	1	12月2日（土） 12月9日（土）	各日とも 8:50～16:00	12月16日（土）	2日はオンデマンドの講義・演習、9日は対面

【保育内容研究】

本学科がこれまで保育現場と連携して取り組んできた活動や学科の特色として取り入れてきた科目のうち4つの活動を中心に、保育現場における新しい活動の手掛かりとなるような内容を取り上げ、オムニバス形式2コマずつで実施する。「英語に触れる活動を取り入れた多文化理解」「保育に生かせるICT・デジタル機器の活用」「非認知能力の育成」「絵本専門士による保育における絵本の重要性」の4つの内容である。

【保育内容総論】

幼児教育の基本である「環境を通して行う教育」を踏まえて、保育内容5領域の考え方や指導法について理解を深める。人的環境である保育者が一人一人の子どもと信頼関係を結ぶことが保育・幼児教育の基盤であることを理解し、子どもともによりよい教育環境を創造する大切さや保育者の役割について認識を深める。現在求められている質の高い幼児教育とはどのようなものをさすのかということ、具体的な子どもの遊びの実態や動画視聴などを含めて学ぶ。

【保育実践研究】

子どもの主体的な活動を促すための環境構成や保育者の援助などについての事前の講義を踏まえ、隣接する光華幼稚園での保育参観を実施する。参観後には振り返りにより子どもの学びなどについての討議を行うという形式の、保育現場と講義を往還させた授業を実施することで、保育者としての適切な環境構成や援助について再認識する。

【保育の計画と評価】

現在の幼稚園における全体的な計画・教育課程・指導計画の意義と役割を明らかにしつつ、教育課程・全体的な計画の実際から編成の留意事項などの理解、全体的な計画・教育課程と指導計画の意義を明らかにしつつ、それらを編成する際の留意事項についても理解する。また、全体的な計画・教育課程と指導計画の関係性についても理解を深め、自身で作成する力を培う。

【子ども家庭支援の心理学】

現代の家庭を取り巻く心理・社会的環境に焦点を当て、現代の子育て家庭を取り巻く社会的状況を理解して子どもや家庭の支援の在り方や親子関係のあり方、その変化、課題について検討する。そのうえで、子どもの育ちだけでなく、親としての育ちを支える保育者に求められる心理学的知識・態度について学ぶ。